

# 古文化

受け継がれる、日本屋根の伝統美。

第121号



志波彦神社鹽竈神社  
[宮城県塩竈市一森山]



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

表紙 ● 古文化にロマンを求めて

延喜式内名神大社 陸奥国一之宮

し わ ひ こ じ ん じ ゃ し お が ま じ ん じ ゃ  
志波彦神社 鹽竈神社

〔宮城県塩竈市一森山〕

由 緒

仙台市の北東約16km、平安の昔奥州へ下向の都人を魅了し、かの松尾芭蕉も訪れ絶賛した「千賀の浦(松島湾)」の側の小高い丘「一森山」の地に両社をお祀りし、長い歴史を物語る境内からは、遠くは牡鹿半島・金華山、近くは「日本三景」の一つ「松島」の島々が望めます。

志波彦神社は、元は陸奥国宮城郡岩切村(現・仙台市宮城野区岩切)の冠川の畔に鎮座され、平安時代の『延喜式神名帳』に記載のあった名神大社として、朝廷の尊信ことのほか厚いものがありました。明治4年(1871)、国幣中社に御治定され、明治天皇の御思召しにより、明治7年(1874)、鹽竈神社の別宮本殿に遷祀されました。その後、国費により社殿を御造営することとなり、昭和9年(1934)、現在地に工事を起こし、明治・大正・昭和の神社建築の粋を集めて竣工、昭和13年(1938)、御遷座申し上げました。

鹽竈神社創建の年代は明らかではありませんが、武甕槌神と経津主神が陸奥国を平定した時に、両神の道案内をした鹽土老翁神がこの地に留まり、人々に塩づくりを教えたことに始まると伝えられます。

鹽竈神社は、平安時代初期に編纂された『弘仁式』の主税帳に「鹽竈神を祭る料壹萬束」と記され、当時陸奥国より六拾萬参千束の正税が徴収されていた時代に、この様な厚い祭祀料を受けていたことが知られ、陸奥国最大の神社として代々の領主の精神的支えとなっていたと思われまふ。特に伊達家の崇敬は厚く、伊達政宗公が当地を治めた江戸時代以降明治時代に至るまで、歴代の藩



鹽竈神社境内(社殿が整然と配置されている)



鹽竈神社の主祭神 鹽土老翁神を祀る「別宮本殿」

主は「大神主」として祭事を司るとともに社領・太刀・神馬などを寄進されました。なお元禄4年(1691)には正一位を贈られ、明治7年、国幣中社に列格しました。

社 殿



志波彦神社「大鳥居」

志波彦神社の本殿・廻廊・幣殿・拝殿はいずれも朱黒極彩色漆塗り、本殿は三間社檜皮葺流造、拝殿は銅板葺入母屋造で、昭和38年(1963)、神門を含め塩竈市の文化財に指定されました。

鹽竈神社の別宮・左宮・右宮(表紙写真/左右宮本殿)三棟の本殿はいずれも三方を勾欄のある縁をまわし、装飾をおさえた木造素木三間社檜皮葺流造、一方、別宮・左右宮二棟の拝殿は古風で華やかな様式の朱漆塗銅板葺入母屋造と好対照な佇まいを見せております。



松尾芭蕉が奥の細道で綴った「文治神燈」

さらに、南向きの左宮と右宮、松島湾を背にした西向きの別宮の三本殿と二拝殿の社殿に加え、門・廻廊・隨身門が整然と並ぶ構成は、江戸中期の神社建築としては



開運・商売繁盛祈願の「撫で牛」

類例がなく、その歴史的価値が認められ、平成14年(2002)に本殿以下十四棟の建物と石鳥居一基が国の重要文化財に指定されました。また、境内には文治神燈などの文化財があります。

# 檜皮採取者養成研修 第19期生 及び 平成31年度 檜皮採取中級研修 始まる

平成31年度の檜皮採取者初級養成研修が、8月20日から23日の文化財建造物保存技術研修センターでの講義を皮切りに始まりました。内容は文化財保護法、原材料採取法、原材料性質と種類、労働安全衛生法等です。

## 初級研修



実技研修は、8月26日より河内長野市有林においてスタートし、指導員から檜皮の採取法、木を傷めない籠の使い方、荷造り、山の歩き方等を教わり、檜皮採取者としての一歩を踏み出しました。檜皮葺にとって、檜皮採取はとても重要な仕事です。今後は技術の研鑽とともに、技術の継承、資質の向上を目指し研修に取り組んでいただきたいと思います。

平成31年度の檜皮採取中級研修も8月26日からの宮島国有林より始まりました。今年度は25名にて2月7日を最終日とし、全国の国有林等で14クール(1クール4～6名)の採取研修をしていきます。また、技術力の高い中級者には、初級研修生の指導にもあたってもらいます。

国有林をはじめ山林保有者の方々、研修関係者の方々には今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 中級研修



# 文化財屋根葺士養成研修 第23期生 後期研修 終了

去る9月18日をもって後期研修を終了し、第23期文化財屋根葺士養成研修のすべての課程を終了いたしました。後期研修では卒業現場実習に向けた材料整形をはじめ、模型や実際の保存修理現場での葺き実習、座学では実測及び製図、建築史演習では滋賀県と京都市内の各所を講師の方の指導の下、2日間にわたり実施しました。

8月下旬からは研修の集大成となる卒業現場実習を志波彦神社鹽竈神社様のご協力を得て実施し、平葺のみならず役所も担当させていただき、2年間にわたる研修の成果を十分に発揮することができました。

昨年の4月から始まった今期の研修ですが、当初は頼りなさも感じた研修生の皆さんも、研修が進むにつれて、たくましくなっていました。先日、公開セミナーで技術の実演をしていただきましたが、すっかり職人の顔に

なって、堂々と実演されている姿を目の当たりにし、研修で学んだことが少しずつ身になってきているのかなと感じます。

研修が終了したとはいえ、これで終わりではありません。ここはあくまで通過点であり、屋根葺士として生きていくためのスタートラインに立ったにすぎません。驕ることなく常に謙虚に技術と向き合っていってほしいと心から願います。

前期研修も含め、第23期の養成研修事業にお力添えをいただいた講師の方々、指導員の皆さん、そして行政をはじめとした関係機関の皆様方に、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。今後もご指導のほど、よろしくお願い致します。



建築史演習



実測

## 座学



製図



建築史演習

## 現場実習



平葺



棟軒切り

## 卒業現場実習



平葺



志波彦神社 鹽竈神社 御文庫



役所 (隅葺)



役所 (軒走り先)

# 平成31年度 檜皮採取技術査定会

期 間 ● 令和元年9月26日(木)・27日(金)  
会 場 ● 日羽八幡神社(岡山県総社市日羽661)

檜皮採取技術査定会は、檜皮採取研修生の日頃の研修成果を査定するとともに、技術の継承と向上を目的として毎年行っております。

当日は、日羽八幡神社総代様をはじめ、文化庁文化資源活用課(修理指導部門)調査官 黒坂貴裕様、保存会会長及び理事、派遣事業所会員、事務局も参加し総勢37名で行いました。査定を受ける研修生は初級4名を含む11名の参加で、査定員は指導員2名と指導補助員3名の合計5名で行いました。黒坂様は、若い研修生達の檜皮採取作業や査定員に

よる査定を視察されていました。

研修生は日頃の成果を存分に発揮し、採取作業に当たりました。1日目の午後から作業に入り、2日目の正午に査定会は終了しました。査定員の採点を元に、日頃の研修の年間実績考課値を加味して担当役員が技術ランクを決定、後日派遣事業所に通知いたします。今後も採取研修に真摯に取り組んでくれることを期待します。

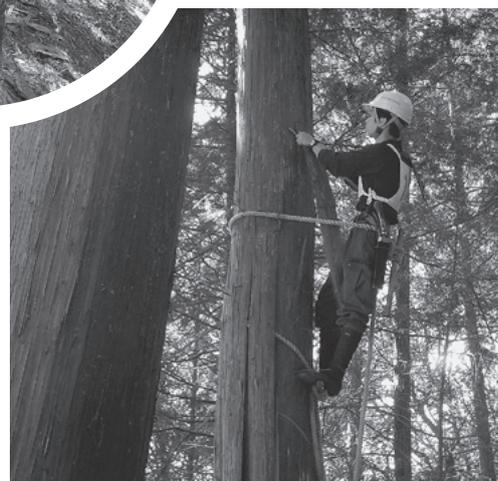
最後に、この度査定会の開催にご協力いただきました日羽八幡神社の皆様にご心より感謝申し上げます。



慎重に皮を剥ぐ研修生



査定員が見つめる緊張のなか、真剣に取り組む研修生



振り縄とへらを使い皮を剥きあげる



剥いだ皮を集め結束する



査定を終えて、黒坂様の総評に耳を傾ける研修生達

# 平成31年度 特別講座 開講(全2回)

## 第1回「人と自然のつながり」

京都大学フィールド科学教育研究センター  
教授 吉岡 崇仁



日時 ● 令和元年6月22日(土)14:00~16:00

会場 ● 文化財建造物保存技術研修センター

湖から集水域、森里海連環へと研究対象を拡げてこられた吉岡崇仁様。今回の講座では、「人と自然のつながり」をテーマにご講演いただきました。

### 【講演内容要約】

## 人と自然との持続的共存を目指し

京都大学フィールド科学教育研究センターは、2003年4月、7箇所の演習林と亜熱帯植物実験所、水産実験所、臨海実験所を統合し、新たな学問分野「森里海連環学」<sup>もりきとうみれんかんがく</sup>を掲げて発足しました。「森里海連環学」とは、森から海に至る様々な生態系の相互作用を生物や物質の視点から解明する一方、そこに育まれている人びとの営みや文化を合わせて解析することにより、自然との付き合い方を考える総合学科です。森や川、海などには様々な環境があり、そこには生き物や物質が存在しています。そして、その多様な生態系は結び付きながら互いに影響を与えています。森だけ、海だけと、生態系を個別に研究しては地球環境問題が解決しないことが分かってきました。「森里海連環学」では、森と川と海の間について、さらには自然と人間社会の間について明らかにしようとしています。

京都大学フィールド科学教育研究センター・森林ステーションの一つに「芦生研究林」<sup>あしう</sup>があります。西日本屈指と言われる大規模天然林で、その面積は約4,200ヘクタールになります。その一部は鳥獣保護区の指定を受けていますが、シカによる食害は深刻です。下層植物を全て食べ尽くしてしまうのです。また、杉の樹皮を剥いで樹液を舐める熊もいます。樹皮を剥がすとその部分はもう育ちません。その境目は成長するにつれて中に巻き込まれ(入り皮)<sup>いりかわ</sup>、その木はやがて枯死してしまいます。入り皮は当時の大気の状態を保持していて、非常に貴重な情報源ともなりますが、鳥獣保護か植生保護かという難しい問題でもあるのです。

## こころに宿る認識の違い

さて、人びとのこころは自然とどのようにつながっているのでしょうか。ある森を見てある人は、山の木を切ってそれを売って利用しようとする。ある人は、山を切り崩して宅地開発しようとする。ある人は、動物・植物を保護・保全しようとする。ある人は、全く無関心である。同じ森であっても、人それぞれに感じることは違うでしょう。また、同じ人でも、午前と午後、10年前と10年後で違うかもしれません。なぜそのような環境意識の違いが生じてくるのでしょうか。

人には環境というものを思い浮かべて意識することができ、それに対して様々な価値判断をします。この環境の価値判断というのは、環境に対する態度を決定する際の基礎となります。この認識(意識)するという行為ですが、人は見たものの全てを把握できているわけではなく、ごく一部だけを知った状態で判断をしているので、人によってその認識は様々であるということです。環境の一部とそれぞれの関係性を結んだものが個人の認識となります。

例えば、赤いバラがあり、そのバラが枯れたとします。事実としては、水が足らずに枯れたということです。それをある人はどのように表現するのかというと、「仕事が忙しくて庭の手入れをする時間がなかった」「息子に頼んでいたのだけれど、念押しできていなかった」と。その一方で、科学者なら「このところの気象条件からすると、毎日1リットルの水が必要だった」という言い方になるかもしれません。前者は、ある出来事とある出来



講座風景

事を因果的に結び付けて説明する物語的説明です。それに対し後者は、科学的説明で因果関係は直線的であると表現できます。論理でつながるのも一つの方法ですが、大半の人びとはここで自然とつながっているのです。

## 意識を左右する距離感

では、環境の価値について森林を通して考えてみましょう。森林には多面的あるいは公益的な機能が8つあると言われています。例えば、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止機能・土壌保全機能…などに分類されるのですが、森林・農地・水域への関心についてアンケートを取った結果を解析したのがあります。その中で分かったことは、みなさんが日頃から8つの機能について勉強をされているわけではないけれども、認識としてその機能・価値をある程度識別されているということです。

また、森林を所有している人びとに、「所有している森林」「住んでいる地域の森林」「日本の森林」それぞれがどういう森であってほしいかと尋ねたところ、「所有している森林」は木材生産の森であってほしい。「地域の森林」ならば、木材生産の他に山崩れ防止・水源保全として活用してほしい。「日本の森林」になると、地球環境保全に貢献してほしいと、方向性は大きく変わりました。

これは、自分と森との距離感で意識が変わるということです。所有している森ならば財産としての利用価値を高めようと考え、そうでなければ地球環境保全などの非利用価値として活用しようと考えます。自分と森との距離感が、自分の意識、あるいは価値判断に影響するということが分かります。

## 漁師がつなぐ森の活動

宮城県気仙沼湾で牡蠣の養殖をしている漁師の畠山重篤さんという方がおられます。海の環境を良くするためには森が大切だと、1980年代から植林を始められました。海の恵みは山から流れてくる栄養のお陰であることから、「森は海の恋人」をキャッチフレーズに活動を続けておられます。では、なぜ漁師だった畠山さんがお金や手間を掛けて森の手入れをするようになったのでしょうか。

「Not In My Back Yard」という言葉があります。例えば、ゴミ処理場、火葬場、屠畜場などは生活に必要な施設ですから、建設には賛成します。しかし、自分の地域に建設されることに対しては反対の声を上げるのです。「Not In My Back Yard」とは、公共のために必要な事業であることは理解しているが、自分の居住地域内で行なわれることには反対という住民の姿勢を表わす言葉です。それは自分が含まれているのか、含まれていないのか、

「イン」か「アウト」かの意識の違いとすることができます。

これまで漁師にとって森というのは、「アウト」の環境だったわけです。しかし、あるとき森は海という自分の生業の場に大きく関わっているということが分かり、認識の変化が起きました。漁師にとって森は「イン」の環境へと移ったのです。

## こころの在り方向に合せて

京都大学フィールド科学教育研究センター・里域ステーションの一つ、「徳山試験地」は、檜皮林として文化庁から「ふるさと文化財の森」に指定されています。

この森で檜皮採取の実演を市民の皆様様に公開するイベントを開催しました。原皮師の研修も行われ、採取された檜皮はキロ単位で買っていただけます。ここにはお金という利用価値が発生しますが、一方で重要文化財や国宝の屋根に葺かれ、日本の伝統が守られているという文化的価値あるいは非利用価値があるという考え方もできると思います。資源の価値には、懐の豊かさよりも心の豊かさのほうが幸せということもあるのではないのでしょうか。

人びとのこころの在り方は様々ですが、未来につながる「日本人のこころ」が存在しているのも確かなのです。

人は、身近な環境で起こる事象によって物事を判断しますが、視点を変えて大きな全体との関係を考えてとき、そこに実は密接なつながりが存在しているということを「自然」を例にご教授いただきました。人の価値観は多様で捉え方は千差万別ですが、日本の文化・伝統を誇りに思い豊かになるためには、当会も一つの視点からの発信ではなく、そのバックヤードとの関連性を少しでも多く理解し、「つながり」を伝えていくことが大事なのだと感じました。

最後になりましたが、吉岡様にはご多忙の折にもかかわらずご講演いただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

### 吉岡 崇仁氏プロフィール

1978年 大阪大学理学部 卒業  
1985年 名古屋大学 理学博士  
1988年 信州大学理学部 助手  
1993年 名古屋大学大気水圏科学研究所 助手  
2001年 総合地球環境学研究所 助教授  
2007年 京都大学フィールド科学教育研究センター 教授  
2013年～2016年 同上センター長  
専門分野：生物地球化学  
現在の研究内容：森林流域における炭素・窒素の物質循環  
興味の内容：人びとの環境意識と自然環境の関係  
受賞歴：第9回生態学琵琶湖賞(1999)  
出版書籍：南川雅男・吉岡崇仁編著(2006)「生物地球化学」培風館  
吉岡崇仁編(2009)「環境意識調査法－環境シナリオと人々の選好－」勁草書房

# 会 員 名 簿

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の会員名簿をご紹介します。届け出内容等に変更がございましたら、事務局 Tel 075-541-7727 か Fax 075-532-4064 までお知らせください。

## ■法人登録(檜皮葺・柿葺、檜皮採取、屋根板製作部門)

No.	正会員名	代表者名 (担当者名)	〒	住 所	TEL	FAX
1	(有) 池田社寺	池田 民哉 (池田 民哉)	815-0037	福岡市南区玉川町17-19	092-541-7593	092-512-8288
2	(有) 石塚商店	石塚 直幸 (石塚 直幸)	669-3154	兵庫県丹波市山南町梶525-1	0795-76-1064	0795-76-2119
3	岩崎社寺工業(株)	岩崎 剛 (岩崎 剛)	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
4	(有)大城戸社寺工業	大城戸 昇 (大城戸 昇)	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田432	0795-28-4631	0795-28-4682
5	(株)大野檜皮工業	大野 浩二 (大野 浩二)	669-3101	兵庫県丹波市山南町上滝855	0795-78-0352	0795-71-4129
6	(株)小山社寺工業所	小山 真人 (小山 真人)	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
7	狩野興建(株)	狩野 邦成 (狩野 邦成)	812-0054	福岡市東区馬出5-26-11	092-651-2345	092-651-3060
8	(株)河村社寺工殿社	河村 雅史 (河村 雅史)	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
9	岸田工業(株)	岸田 信行 (岸田 信行)	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
10	(有) 吉川社寺	吉川 晋二 (吉川 昌治)	699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田457-1	0854-52-2026	0854-52-2168
11	栗山木工(有)	栗山 弘忠 (栗山 弘忠)	399-5504	長野県木曾郡大桑村野尻2271-6	0264-55-2134	0264-55-4034
12	(株)児島工務店	児島 研輔 (児島 研輔)	700-0827	岡山市北区平和町4-7	086-232-2223	086-223-9424
13	(有)社寺工芸大紀堂	大城戸 一秀 (大城戸 一秀)	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田268-2	0795-28-3005	0795-28-4784
14	田中社寺(株)	田中 敬二 (田中 敬二)	500-8483	岐阜市加納東丸町2-20	058-272-2871	058-276-1329
15	谷上社寺工業(株)	谷上 永晃 (谷上 永晃)	633-0053	奈良県桜井市谷旭町904-2	0744-42-2790	0744-42-5389
16	(株)友井社寺	友井 辰哉 (友井 辰哉)	669-3111	兵庫県丹波市山南町阿草1302	0795-78-0810	0795-78-0002
17	(有) ひわだや	佐々木 真 (佐々木 真)	753-0036	山口市円政寺町5-4	083-922-1651	083-922-1800
18	(株)松村工務店	松村 正徳 (松村 正徳)	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-8018
19	(有)宮川屋根工業	宮川 義史 (宮川 義史)	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040
20	(株)村上社寺工芸社	村上 英明 (村上 英明)	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場443-1	0795-78-0158	0795-78-0708

## ■法人登録(茅葺部門)

No.	正会員名	代表者名 (担当者名)	〒	住 所	TEL	FAX
21	明石屋根工事(有)	長崎 貴宣 (長崎 貴宣)	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯126-2	086-482-0056	086-483-1212
22	(株)上野建設	上野 千代榮 (上野 千代榮)	037-0316	青森県北津軽郡中泊町芦野字堤の袖148-75	0173-57-3825	0173-57-3227
23	(有)大西茅葺	大西 謙之 (大西 謙之)	578-0924	大阪府東大阪市吉田1丁目12-20	072-961-6015	072-961-6015

24	(有)熊谷産業	熊谷 秋雄 (熊谷 秋雄)	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎340	0225-67-2045	0225-67-2032
25	ニシオサプライズ(株)	西尾 晴夫 (西尾 晴夫)	601-0751	京都府南丹市美山町島英サ29	0771-75-5088	0771-75-5087
26	美山茅葺(株)	中野 誠 (中野 誠)	601-0712	京都府南丹市美山町北高倉69	0771-77-0649	0771-77-0650
27	山城萱葺(株)	山田 雅史 (山田 雅史)	610-0121	京都府城陽市寺田中大小100	0774-55-6912	0774-27-2186

## ■個人登録(檜皮葺・柿葺、檜皮採取、屋根板製作部門)

No.	正会員名	屋号	〒	住 所	TEL	FAX
28	大西安夫	播磨社寺工芸	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田1000	0795-28-2451	0795-28-2451
29	木下岩男	木下社寺建築	526-0814	滋賀県長浜市石田町588	0749-62-7160	0749-62-7186
30	楠本浩史	檜皮葺古家	648-0211	和歌山県伊都郡高野町高野山73-4	0736-56-2154	0736-56-2158
31	小西繁俊	小西工芸	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山526-2	07463-2-8510	07463-2-8510
32	阪上卓	阪上組	648-0037	和歌山県橋本市賢堂182	0736-32-0791	0736-32-0791
33	杉本惣一	(有)屋根惣	616-8041	京都市右京区花園寺ノ前町26	075-464-5970	075-464-5970
34	長谷部直之	溝口屋根工務	602-0036	京都市上京区室町通今出川上ル西入蒔鳥屋町143	075-451-3563	075-415-1388
35	山香正	正藤社寺	872-0103	大分県宇佐市北宇佐1551	0978-37-3393	0978-37-3393

## ■個人登録(茅葺部門)

No.	正会員名	屋号	〒	住 所	TEL	FAX
36	杉山信義	飛騨かやぶき	501-5417	岐阜県高山市莊川町野々俣571-21	05769-2-2555	05769-2-2036
37	隅田隆蔵	茅葺隅田	633-2136	奈良県宇陀市大宇陀区大熊579	0745-83-2870	0745-83-2870
38	田中正光	山田茅葺業	632-0121	奈良県天理市山田町2252	0743-69-2198	0743-69-2198

## ■名誉会員

No.	名誉会員名	〒	住 所	TEL	FAX
1	岩崎長蔵	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
2	小山儀一郎	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
3	河村直良	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
4	岸田重信	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
5	熊谷貞好	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎340	0225-67-2045	0225-67-2032
6	長崎真知夫	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯126-2	086-482-0056	086-483-1212
7	松村正義	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-8018
8	宮川友一	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040

(2019.4.1 現在)

## ■賛助会員

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
1	社 寺	關 伽 井 坊	744-0024	山口県下松市末武上398	0833-44-8409
2		天 野 山 金 剛 寺	586-0086	大阪府河内長野市天野町996	0721-52-2046
3		伊 賀 八 幡 宮	444-0075	愛知県岡崎市伊賀町東郷中86	0564-26-2789
4		石 山 寺	520-0861	滋賀県大津市石山寺1-1-1	077-537-0013
5		石 上 神 宮	632-0014	奈良県天理市布留町384	0743-62-0900
6		巖 島 神 社	739-0588	広島県廿日市市宮島町1-1	0829-44-2020
7		出 雲 大 社	699-0701	島根県出雲市大社町杵築東195	0853-53-3100
8		石 清 水 八 幡 宮	614-8588	京都府八幡市八幡高坊30	075-981-3001
9		宇 佐 神 宮	872-0102	大分県宇佐市南宇佐2859	0978-37-0001
10		永 保 寺	507-0014	岐阜県多治見市虎溪山町1-40	0572-22-0351
11		比 叡 山 延 暦 寺	520-0116	滋賀県大津市坂本本町4220	077-578-0551
12		大 崎 八 幡 宮	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡4-6-1	022-234-3606
13		大 神 神 社	633-8538	奈良県桜井市三輪1422	0744-42-6633
14		大 山 祇 神 社	794-1393	愛媛県今治市大三島町宮浦3327	0897-82-0032
15		意 賀 美 神 社	598-0024	大阪府泉佐野市上之郷45	072-468-0540
16		尾 張 大 國 霊 神 社	492-8137	愛知県稲沢市国府宮1-1-1	0587-23-2121
17		園 城 寺	520-0036	滋賀県大津市園城寺町246	077-522-2238
18		柏 原 八 幡 宮	669-3309	兵庫県丹波市柏原町柏原字八幡山1-1	0795-72-0156
19		鹿 島 神 宮	314-0031	茨城県鹿嶋市宮中2306-1	0299-82-1209
20		春 日 大 社	630-8212	奈良市春日野町160	0742-22-7788
21		香 取 神 宮	287-0017	千葉県香取市香取1697	0478-57-3211
22		賀 茂 神 社	671-1332	兵庫県たつの市御津町室津74	079-323-3171
23		賀 茂 御 祖 神 社	606-0807	京都市左京区下鴨泉川町59番地	075-781-0010
24		賀 茂 別 雷 神 社	603-8047	京都市北区上賀茂本山339	075-781-0011
25		吉 備 津 神 社	701-1341	岡山市北区吉備津931	086-287-4111
26		吉 備 津 彦 神 社	701-1211	岡山市北区一宮1043番地	086-284-0031
27		清 水 寺 ( 京 都 )	605-0862	京都市東山区清水1-294	075-551-1234
28		清 水 寺 ( 安 来 )	692-0033	島根県安来市清水町528	0854-22-2151
29		金 峯 山 寺	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山2498	0746-32-8371
30		杭 全 神 社	547-0046	大阪市平野区平野宮町2-1-67	06-6791-0208
31		熊 野 本 宮 大 社	647-1731	和歌山県田辺市本宮町本宮1110	0735-42-0009
32		氣 多 大 社	925-0003	石川県羽咋市寺家町ク1-1	0767-22-0602

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
33	社 寺	高 良 大 社	839-0851	福岡県久留米市御井町1	0942-43-4893
34		國 前 寺	732-0048	広島市東区山根町32番1号	082-261-4578
35		国 分 寺 ( 備 中 )	719-1123	岡山県総社市上林1046	0866-92-0037
36		金 剛 輪 寺	529-1202	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873	0749-37-3211
37		護 国 八 幡 宮	932-0836	富山県小矢部市埴生2992	0766-67-1220
38		西 明 寺	522-0254	滋賀県犬上郡甲良町池寺26	0749-38-4008
39		志波彦神社 鹽竈神社	985-8510	宮城県塩竈市一森山1-1	022-367-1611
40		真 珠 庵	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町52	075-492-4991
41		慈 眼 院	598-0021	大阪府泉佐野市日根野626	072-467-0092
42		十 三 神 社	640-1235	和歌山県海草郡紀美野町野中493	073-495-3755
43		浄 土 寺	722-0043	広島県尾道市東久保町20-28	0848-37-2361
44		住 吉 神 社	751-0805	山口県下関市一の宮住吉1-11-1	0832-56-2656
45		住 吉 大 社	558-0045	大阪市住吉区住吉2-9-89	06-6672-0753
46		瑞 龍 寺	933-0863	富山県高岡市関本町35	0766-22-0179
47		善 光 寺	380-0851	長野市元善町491	026-234-3591
48		談 山 神 社	633-0032	奈良県桜井市多武峰319	0744-49-0001
49		醍 醐 寺	601-1325	京都市伏見区醍醐東大路町22	075-571-0002
50		大 徳 寺	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町53	075-491-0019
51		太 宰 府 天 満 宮	818-0195	福岡県太宰府市宰府4-7-1	092-922-8225
52		竹 林 寺	739-2208	広島県東広島市河内町入野3103	082-437-1171
53	智 満 寺	427-0001	静岡県島田市千葉254	0547-35-6819	
54	長 福 寺	701-2602	岡山県美作市真神414	0868-74-2026	
55	津 島 神 社	496-0851	愛知県津島市神明町1	0567-26-3216	
56	出 羽 三 山 神 社	997-0292	山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7	0235-62-2355	
57	東 福 寺	605-0981	京都市東山区本町15丁目778	075-561-0087	
58	那 谷 寺	923-0336	石川県小松市那谷町ㇿ122	0761-65-2111	
59	那 智 山 青 岸 渡 寺	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8	0735-55-0001	
60	南 宮 大 社	503-2124	岐阜県不破郡垂井町宮代1734-1	0584-22-1225	
61	野 上 八 幡 宮	640-1141	和歌山県海草郡紀美野町小畑625	073-489-2162	
62	日 御 碕 神 社	699-0763	島根県出雲市大社町日御碕455	0853-54-5261	
63	日 吉 大 社	520-0113	滋賀県大津市坂本5-1-1	077-578-0009	
64	広 八 幡 神 社	643-0064	和歌山県有田郡広川町上中野206	0737-62-2371	
65	富士山本宮浅間大社	418-0067	静岡県富士宮市宮町1-1	0544-27-2002	

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
66	社 寺	法 隆 寺	636-0115	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1	0745-75-2555
67		法 華 経 寺	272-0813	千葉県市川市中山2-10-1	047-334-3433
68		本 山 寺	708-1536	岡山県久米郡美咲町定宗403	0868-62-1050
69		御 上 神 社	520-2323	滋賀県野洲市三上838	077-587-0383
70		御 調 八 幡 宮	722-1513	広島県三原市八幡町宮内13	0848-65-8652
71		三 船 神 社	649-6123	和歌山県紀の川市桃山町神田101	0736-66-1620
72		美 保 神 社	690-1501	鳥根県松江市美保関町美保関608	0852-73-0506
73		妙 成 寺	925-0002	石川県羽咋市滝谷町ヨ1	0767-27-1226
74		宗 像 大 社	811-3505	福岡県宗像市田島2331	0940-62-1311
75		八 坂 神 社	563-0043	大阪府池田市神田4-7-1	072-751-3790
76		吉 野 水 分 神 社	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山1612	07463-2-3012
77		龍 源 院	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町82-1	075-491-7635
78		瑠 璃 光 寺	753-0081	山口市香山町7-1	083-922-2409
79		六 所 神 社	444-0864	愛知県岡崎市明大寺町字耳取44	0564-51-2930
1	そ の 他	神 宮 司 庁 営 繕 部	516-0023	三重県伊勢市宇治館町1	0596-24-1111
2		高 林 家 住 宅	591-8037	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5-647	072-255-6998

(2019.4.1 現在)

## ■ 準会員

No.	氏名	職種
1	青木胤勲	檜皮採取
2	青木照幸	檜皮葺
3	青山亨	檜皮葺・柿葺
4	赤嶺尚耶	茅葺
5	赤嶺怜	茅葺
6	朝野達也	檜皮葺・柿葺
7	芦田健太	檜皮葺・柿葺
8	蘆田祐明	檜皮葺・柿葺
9	足立健一	檜皮葺・柿葺
10	安部悟司	柿葺 屋根板製作
11	飯野映稚	檜皮葺・柿葺
12	池田陽輔	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
13	井阪智	茅葺
14	石井潤	檜皮葺・柿葺
15	石井規雄	茅葺・事務
16	石川良三	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
17	石塚健一	竹釘製作
18	井関善晴	檜皮葺・柿葺
19	磯部孝樹	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
20	市原健	檜皮葺・柿葺
21	一色律男	檜皮葺・柿葺
22	伊藤貴弘	檜皮葺・柿葺
23	伊藤延行	檜皮葺・柿葺
24	伊藤元輝	檜皮採取
25	伊東洋平	茅葺
26	糸賀一道	檜皮採取
27	井上裕貴	檜皮採取
28	居原田浩樹	檜皮葺・柿葺
29	入江匠	檜皮葺・柿葺
30	岩崎正	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
31	上野英樹	茅葺
32	大崎悠	茅葺
33	大西康純	茅葺
34	大野沙織	茅葺
35	大野隼矢	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
36	岡祐紀	茅葺
37	緒方伸也	檜皮葺
38	岡野史和	檜皮葺・柿葺
39	岡本葉澄	檜皮葺・柿葺
40	奥田治郎	檜皮葺・柿葺
41	奥田正博	檜皮・柿葺
42	尾崎良助	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
43	小澤翔太	檜皮採取
44	方山和也	檜皮葺・柿葺
45	勝部哲也	檜皮葺・柿葺
46	加藤貴規	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
47	金谷史男	茅葺
48	包國眞匠	檜皮葺・柿葺
49	金子英生	檜皮葺・柿葺
50	上出健	檜皮採取

No.	氏名	職種
51	亀井輝彦	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
52	嘉本洋士	檜皮葺・柿葺
53	川田徳宏	檜皮葺・柿葺
54	河野修二郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
55	菊池保	茅葺
56	岸田智太郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
57	岸田直彦	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
58	吉川圭一	檜皮葺・柿葺
59	吉川晋二	柿葺 屋根板製作
60	木戸智裕	屋根板製作
61	木下和也	檜皮葺
62	木下真介	檜皮葺・柿葺
63	木村健太	檜皮葺・柿葺
64	清田幸臣	檜皮葺・柿葺
65	栗山光博	屋根板製作
66	栗山雄二	屋根板製作
67	栗山芳博	屋根板製作
68	小池一平	檜皮葺・柿葺
69	古川一敏	茅葺
70	児島真介	檜皮葺・柿葺
71	児玉典史	茅葺
72	後藤哲夫	檜皮採取
73	小西康介	檜皮葺・柿葺
74	小西繁信	檜皮葺・柿葺
75	小林正之	茅葺
76	小原一樹	檜皮葺・柿葺
77	駒宏樹	茅葺
78	近藤竜太	檜皮採取
79	酒井慶伍	茅葺
80	寒河江清人	檜皮葺・柿葺
81	佐々木綾子	檜皮葺
82	佐々木孝則	茅葺
83	澤田昌己	檜皮葺・柿葺
84	塩田隆司	檜皮葺・柿葺
85	品川琉心	檜皮葺・柿葺
86	下原幸樹	檜皮葺・柿葺
87	須賀均	檜皮採取
88	須賀将志	檜皮葺・柿葺
89	杉井喜雄	檜皮葺・柿葺
90	杉谷功	檜皮葺・柿葺
91	高木諒	屋根板製作
92	大下倉優	茅葺
93	高島優雅	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
94	高平勝也	檜皮葺・柿葺
95	竹嶋大貴	茅葺
96	竹森暢哉	檜皮葺・柿葺
97	武山貞秋	茅葺
98	立木覚士	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
99	田中順也	茅葺
100	田中慎一	檜皮葺

No.	氏 名	職 種
101	田中 智紗衣	管 理
102	田 原 一 生	檜皮葺・柿葺
103	寺田 美乃里	檜皮葺・柿葺
104	戸 梶 憲 幸	檜皮葺・柿葺
105	時 長 祐 貴	檜皮葺・柿葺
106	富 田 啓 介	茅 葺
107	永 瀬 慶 祐	檜皮葺・柿葺
108	中 根 悠 太	檜皮葺・柿葺
109	長 野 直 人	茅 葺
110	永 原 光 敬	檜皮葺・柿葺
111	中 村 裕 司	檜皮葺・柿葺
112	中 森 千 尋	茅 葺
113	西 裕 之	檜皮葺・柿葺
114	西 谷 将 太	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
115	西 堀 大 樹	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
116	西 村 聡 央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
117	西 村 信 生	檜皮葺・柿葺
118	沼 澤 修 一	檜皮葺・柿葺
119	野 谷 嘉 邦	檜皮葺・柿葺
120	BAATARSUREN BAT ERDENE	茅 葺
121	橋 本 浩 太 郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
122	林 直 希	檜皮採取
123	東 友 一	檜皮葺・柿葺
124	檜 篤 広	檜皮葺・柿葺
125	平 田 将 大	檜皮葺・柿葺
126	平 野 健 太 郎	檜皮葺・柿葺
127	平 野 裕 也	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
128	廣 内 翔	檜皮葺・柿葺
129	深 本 英 昭	檜皮葺・柿葺
130	福 岡 亮 太	檜皮採取
131	藤 中 竜 也	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
132	藤 原 諒	檜皮葺・柿葺
133	瀧 上 大 輔	檜皮葺・柿葺
134	古 川 友 喜	檜皮葺・柿葺
135	細 見 和 希	檜皮葺・柿葺
136	細 見 知 憲	檜皮葺・柿葺
137	細 見 裕	檜皮葺・柿葺
138	堀 内 博 樹	檜皮葺・柿葺
139	堀 江 栄 行	屋根板製作
140	堀 尾 誠 那	屋根板製作
141	本 多 亮 貴	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
142	毎 熊 徳 満	檜皮葺
143	楨 原 孝 宜	檜皮葺・柿葺
144	益 満 響	檜皮採取
145	松 下 太 洸	檜皮葺
146	松 島 俊 一	屋根板製作
147	松 田 哲 也	檜皮葺・柿葺
148	松 村 省 弥	檜皮葺・柿葺
149	松 村 純 孝	檜皮葺・柿葺
150	松 村 有 記	檜皮葺・柿葺

No.	氏 名	職 種
151	三 上 昭 信	茅 葺
152	三 上 直	茅 葺
153	道 繁 康	檜皮葺・柿葺
154	三 ッ 出 俊 平	檜皮葺・柿葺
155	緑 川 幹 雄	檜皮葺・柿葺
156	峰 地 幹 太	檜皮葺・柿葺
157	宮 西 寛	檜皮葺
158	向 田 学	檜皮葺・柿葺
159	村 岡 伸 康	檜皮採取
160	村 上 章 浩	檜皮葺・柿葺
161	村 上 貢 章	檜皮葺・柿葺
162	森 壯 馬	檜皮葺
163	森 山 淳 希	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
164	矢 野 友 則	檜皮葺・柿葺
165	山 口 成 貴	檜皮葺・柿葺
166	山 口 宗 平	檜皮葺・柿葺
167	山 崎 堅 登	檜皮葺・柿葺
168	山 田 勇 生	檜皮葺・柿葺
169	湯 田 詔 奎	茅 葺
170	湯 野 尚 一 郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
171	吉 川 一 生	茅 葺
172	吉 竹 秀 紀	檜皮採取
173	余 宮 祥 平	茅 葺
174	和 田 琢 男	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
175	渡 辺 昌 弘	茅 葺
176	渡 部 雄 太	檜皮葺・柿葺

(2019.4.1現在)

# 特別講座

【平成31年度の予定】

●定員は50名程度(参加費無料)

●参加希望の方は事務局までご連絡ください。

E-mail: [info@syajiyane-japan.org](mailto:info@syajiyane-japan.org)

## 第1回講座 「人と自然のつながり」

終了しました

日時 ● 令和元年6月22日(土) 14:00～16:00

会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

京都大学フィールド科学  
教育研究センター

教授 吉岡 崇仁



1978年 大阪大学理学部 卒業  
1985年 名古屋大学 理学博士  
1988年 信州大学理学部 助手  
1993年 名古屋大学大気水圏科学研究所 助手  
2001年 総合地球環境学研究所 助教授  
2007年 京都大学フィールド科学教育研究センター 教授  
2013年～2016年 同上センター長

専門分野: 生物地球化学  
現在の研究内容: 森林流域における炭素・窒素の物質循環  
興味の内容: 人びとの環境意識と自然環境の関係  
受賞歴: 第9回生態学琵琶湖賞(1999)  
出版書籍: 南川雅男・吉岡崇仁編著(2006)「生物地球化学」培風館  
吉岡崇仁編(2009)「環境意識調査法 -環境シナリオと人々の選好-」勁草書房

## 第2回講座 「京の町を灯す提灯の文化」

日時 ● 令和元年12月7日(土) 14:00～16:00

会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

奥川提燈店

8代目 奥川 忠司



京都市下京区出身  
京提灯製造本舗「奥川提燈店」8代目店主  
大学卒業後、一般企業への就職を経て家業である奥川提燈店に入社  
実父である先代から提灯製造の技術を継承し、平成7年に代表に就任  
提灯の製造には40年以上従事

### 発行所

京都市東山区清水二丁目 205-5  
文化財建造物保存技術研修センター内



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064  
<http://www.shajiyane-japan.org>

### 古文化 第121号

令和元年11月30日発行

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

### あ と が き

10月31日午前2時40分頃、那覇市の世界遺産「首里城跡」に建つ首里城から出火し、木造3階建ての正殿と、北殿、南殿・番所が全焼、奉神門、書院などが焼損しました。首里城は昭和20年の沖縄戦で焼失後、1989年より始まった30年に及ぶ復元工事を終えたばかりでした。今年4月に起きたパリのノートルダム大聖堂に続く世界遺産の焼失に大きなショックを受けています。

私たち文化財工事に携わる者として、これから一層、火災・災害に注意しながら工事を進めていかなければならないと思っています。

■ ふ る さ と 探 訪 ■

長谷部 直之さんの古里  
「放鶯山 西宗寺」  
(京都市山科区)

京の街は奥行きが深い。何度も泊りがけで旅行して有名なお寺さんはあらかじめ参拝して回ったと思っても由緒ある名刹はまだ数限りなく控えていて、訪れてみればそこには濃密な歴史が積み重ねられている。

京都駅から東へ向かって車を走らせ峠をひとつ越えると眼下に山科の里(現京都市山科区)が広がる。長谷部さんが生まれ育ったこの里には多くの寺院がひしめくように建っていて、公園で野球をしていて隣接した西宗寺ご住職宅の庭にボールを打ち込んでしまったことも一度ならずあったという。

同寺院境内には蓮如上人の印象的な銅像が置かれている。お上人さまの像といえば錫杖を持った立ち姿が一般的だが、ここではくつろいだポーズで座敷に座っていて、傍らには空の鳥籠が置かれている。台座には「蓮如上人放鶯の像」とあり、上人の言動を記録した『空善聞書』の中にある以下の逸話を描いたものだと知れる。

この地で病に臥せていた上人の枕元にはウグイスの

入った鳥籠が置かれていた。部屋にきた弟子たちに上人はこう話したという。

「この鳥は「法聞けよ」と鳴く。鳥でさえそう鳴くのに人間が仏法を聞かぬようでは嘆かわしい。鳥の言葉を聴いて心を慰めていたのだが、いつまでも籠に入れておくのはかわいそうなので竹林に放してやってくれないか」浄土真宗中興の祖といわれる蓮如上人はホーホケキョと鳴く鶯の声を「法聞けよ」と聞きなしたのだ。西宗寺の山号「放鶯山」はこの逸話からきたものだろう。山門前には「蓮如上人御往生之地」と大書された石碑が立っている。

ウグイスの声を聞こえるままに活字化すれば「ホーホヒヒョ」あるいは「ホピピョ」となりそうなもので、何度聞いても途中にカ行の音は含まれていない。現代人が何の疑いもなく「ホーホケキョ」と表記するのは、520年前に逝去した上人の御遺徳が今に伝わっているがゆえかも知れない。

蓮如上人  
放鶯の像



# 古文化

第 121 号



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会